

さど未来創造・戦略推進会議参加者からの意見一覧（資料No.3）

No.		分類	意見	担当課	対応・回答
1	会議 発言	KPI	どのような方たちと目標を共有し、誰がステークホルダーで、どのような推進体制で目標に取り組んでいるのか	全庁	ステークホルダー図（案）を作成し、明確化します。
2	会議 発言	KPI	目標の根拠となるデータの蓄積、分析はできてるのか	全庁	本部会議でも市長から発言があったとおり、各課において第1期KPIも含め効果分析を行っています。
3	会議 発言	KPI	ステークホルダー図を作成し、責任を明確にする（役割分担、ステークホルダー、手段等を記載）	全庁	ステークホルダー図（案）を作成し、明確化します。
4	会議 発言	KPI	地域資源をどう評価した数値目標なのかわかりづらい	全庁	数値目標設定について、ステークホルダー図も含め整理します。
5	会議 発言	人口ビジョン	小規模人口推計を取り入れてはどうか	企画課	予算等も含め内部で検討します。

6	会議 発言	人口ビジョン	出生が年々減少しているが、佐渡総合病院の産婦人科は残るのか	医療対策課	現在、佐渡総合病院の産婦人科廃止の話は出ていません。
7	会議 発言	主な取組	子どもを産みたい思える状態ではない現状を踏まえ、民間との協力などの施策が必要ではないか	全庁	必要に応じ、主な取組に反映
8	会議 発言	主な取組	佐渡には養親組の仲介やサポート体制がない。そういった支援も必要ではないか。	—	新潟県において「里親制度」を実施。 佐渡市子ども若者相談センターにおいて制度等を周知
9	会議 発言	主な取組	引きこもりなど、社会活動できない方が復帰、活躍できる支援が必要ではないか	高齢福祉課 社会福祉課 子ども若者課 市民生活課 (健康推進室)	誰もが社会活動に参加しやすい環境や、活躍できる地域づくりに向けた支援体制の構築を検討します。
10	会議 発言	主な取組	島留学について、総合戦略に記載しないのか	企画課 学校教育課	小学校から高校まで、企画課、学校教育課と連携し進めます。また、基本目標2＞起業創業機会の拡充とU・Iターンの強化に追記します。
11	会議 発言	主な取組	放課後子ども教室について、実施しているところ、実施していないところの差について教えてほしい	社会教育課	市としては、子どもたちの放課後の居場所づくりのため、全ての小中学校で放課後子ども教室を実施したいが、放課後の時間の確保、学校の理解、地域の支援体制、実施環境が整っていないため、実施できていない学校があります。

12	会議 発言	主な取組	市民による自主活動への側面支援などの部分を手厚くし、オリジナルの展開ができないか	全庁	必要に応じ、主な取組に反映
13	会議 発言	主な取組	企業誘致する際の条件などを、佐渡市の課題と絡めてはどうか（子育て支援に協力的な企業など）	移住交流推進課	主催するビジネスコンテストにおいて今年度から「健康づくり、エネルギー、障がい福祉、結婚促進、子育て支援」をテーマに佐渡の課題解決枠としてを設け募集をしており、佐渡の課題解決に寄与する企業誘致に取り組んでいます。
14	会議 発言	主な取組	庁内における横断的な情報の共有	全庁	さど未来創造・戦略推進本部会議にて情報共有します。
15	会議 発言	主な取組	UIターン施策を市民にも知ってもらう意味で、わかりやすいKPIがあっても良いのではないか	移住交流推進課	現在、佐渡市総合戦略においてUIターン者数やその内数である若者（40歳未満）のUIターン者数を指標としており、こちらと併せて周知します。
16	会議 発言	主な取組	地域経済循環分析・検証により有効な戦略を立てられるのではないか	全庁	RESASの活用について全庁に周知します。
17	会議 発言	主な取組	SDGsとの関連性	企画課	総合戦略についても、SDGsの考え方を取り入れ、該当分野を示す

18	意見書	KPI	観光KPI及びKGIについて、入込数を重要視せず、1人あたりの消費額をアップし、その場合、KGIは泊数、満足度、リピート率で考えるべきではないか	観光振興課	入込数は域内経済への貢献に直結しないので、泊数や消費額を重要視したいと考えており、消費額については佐渡市総合計画でKPIとしています。
19	意見書	KPI	インバウンドはハイシーズン、特にGW、8月を避ける傾向がある。このため、KPIは11月～3月に閉鎖する施設数〇件が〇件、KPIはインバウンド泊数、11月～3月入込などに設定する考えが良い	観光振興課	施設の開館状況は旅行者との需給に基づくものと考えるので、まずはアウトカムであるインバウンド泊数などをベースに検討します。
20	意見書	その他	普通高校をグローバルとローカルの人材育成を目指したコンセプトある学校を作ってはどうか	企画課	佐渡教育コンソーシアムにて、新潟県教育委員会に意見提供いたします。
21	意見書	その他	3世帯同居を推進することにより、0歳保育の数が減り、高齢者の生きがい、大人への尊敬、社会インフラのコスト削減が期待できるのではないか	企画課	地域づくりの意見として参考にさせていただきます。
22	意見書	KPI	第1期のKPI達成度合いから課題が多い。有効なKPIを設定を目指し、課題認識した項目についてRESASなどを活用して分析することが必要	全庁	RESASの活用について全庁に周知します。
23	意見書	KPI	チャレンジングなKPI設定も必要と思うが、設定後の定期的な検証とローリングプラン策定による検証と実行も行い、PDCAの実践が必要	全庁	各課において、PDCAサイクルによる効果検証を行います。

24	意見書	主な取組	生活にとって病院はとても大切な機関である。佐和田病院、真野病院の閉鎖により、佐渡総合病院の負担が増し、更に待ち時間が長くなり市民サービス低下につながる。大きな問題のため、今まで以上の支援、取組が必要ではないか。	医療対策課	佐和田病院の医科閉鎖に関しては、診療所との連携により、外来患者の佐渡総合病院への集中を緩和する必要があります。 真野みずほ病院の閉院により、佐渡総合病院に精神科の外来機能が新たに確保されますので、他科の待ち時間が長くなることはないと考えています。
25	意見書	主な取組	一人企業で頑張っている女性がいます。そういった方への起業支援策があることで、女性が好きなことを仕事にして、いきいき輝ける島になるのではないか。	移住交流推進課 地域振興課	佐渡雇用機会拡充事業補助金や佐渡ビジネスコンテストは男女格差のないチャレンジできる仕組みとしており、引き続き誰もが誰もがチャレンジできる環境作りを推進していきます。
26	意見交換会	人口ビジョン 合計特殊出生率	合計特殊出生率は見直しせず、2.08のままの方が良いのではないか。	企画課	現行計画の2.08にて再度、検討します。
27	意見交換会	人口ビジョン 社会動態	毎年UIターン者100人、200人増は現実的ではない。	企画課	総合計画及び総合戦略との整合性を図り、UIターン者数を見直し、将来推計を見直しします。
28	意見交換会	人口ビジョン 社会動態	Uターン者を増やす施策を検討すべき	移住交流推進課	首都圏在住の佐渡出身若年層に対して情報共有の場として佐渡部を実施し、関係人口から移住定住に繋げるための施策を図ります。

29	意見書	KPI	基本目標 3 > 出生数 > 目標200人台維持と記載されているが、総合計画の目標287人と整合性を図るべき	子ども若者課	今年度の出生数がすでに総合計画の目標を大きく下回っていることから、より具体的な目標として200人台の維持を掲げています。
30	意見書	全体	市としてのゴール「KGI」を設定し、各課のKPIがあるべき	企画課	現在、最終目標について検討をしています。
31	意見書	主な取組内容	基本目標 1 > 物産ブランド化と商工業 「コシヒカリの海上輸送（出荷量）」を指標とする理由が不明確。佐渡産品の販路開拓と販路拡大の指標が必要ではないかい	地域振興課	佐渡産品は少量多品目が多いことから、その中で佐渡の代表的なコリヒカリの出荷量を指標としました。
32	意見書	主な取組内容	基本目標 3 > 安心して子育てできる環境づくり > 目標指標 ・ 合計特殊出生率との整合性はあるのか。 ・ 政策の効果を反映させても良いのではないか	子ども若者課	様々な政策を実行しながら出生数の増加に取り組んでいます。
33	意見書	主な取組内容	基本目標 3 > 子育て環境の充実 働くひとり親を支援するための施策として子ども食堂の実施を検討してもらいたい	子ども若者課	フードバンク等民間主体の取り組みも始まっており、民間と協力しながら支援策を検討していきたいと考えています。

34	意見書	主な取組内容	基本目標 3 > 学校教育の充実 放課後児童クラブの整備・充実の掲載に違和感を感じる。「安心して子育てできる環境づくり」ではないか。	子ども若者課	「安心して子育てできる環境づくり」に変更します。
35	意見書	KPI	基本目標 4 > 学校教育の充実 > 放課後児童クラブの整備・充実 延べ利用児童数のほか、施設のキャパ（利用可能人数）を加えてはどうか。	子ども若者課	施設ごとに利用環境が異なり、長期休み等により利用状況も流動的なため延べ利用児童数としています。
36	意見書	主な取組内容	基本目標 3 > 学校教育の充実 「放課後子ども教室」を追加してもらいたい	社会教育課	「放課後子ども教室」は、社会教育課で取り組んでいますが、放課後の時間の確保、地域の支援体制などの整備が必要なため、今後、学校及び学校教育課と連携しながら進めてまいります。
37	意見書	主な取組内容	基本目標 1 育てる漁業の推進、ブランド力と販売力の強化、就業者の確保・育成、地産地消の取組の施策は理想に叶っている。しかし、漁協組合の力は、経営、人材不足はあきらかであるため、佐渡の漁協を一元化し、人材をリーダーをひとつの漁協に集めるため、漁協合併を進める施策を検討してもらいたい。	農林水産課	新潟県漁業協同組合連合会を主体に、新潟県・佐渡市等が連携して推進しているため、佐渡市の基本目標とすることは妥当ではないと考えます。

38	意見書	主な取組内容	出生数、出生率の維持・向上や社会増減対策の直接的な施策も大事であるが、その前提としての「佐渡の魅力」を高めるための取組みを重要である。「佐渡の魅力」を高めるために、起業・第二創業並びに企業の積極的な設備投資やSDGsなど企業改善活動が必要である。行政として各種支援策を行っているが、支援策の効果について検証し、発信・公表を1年毎の周期で改善策を立案・実施していく取組みが必要である。	地域振興課	第2期佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組みについては、各課において評価分析するとともに、毎年度、検証結果をさど未来創造・戦略推進会議及び議会に公表・報告することとなっております。
39	意見書	主な取組内容	基本目標1＞誰もがやりがいを持って働ける環境づくり＞障がい者の就労支援 福祉施設から一般就労への取組みについて触れてはどうか	社会福祉課	取組内容のなかで、関係機関と連携するなかに、就労支援施設を追加しました。
40	意見書	主な取組内容	基本目標1＞誰もがやりがいを持って働ける環境づくり＞高年齢者の就業機会の確保 高齢者起業家育成としたほうが、個人の能力が生かされ、働く動機につながるのではないか。	高齢福祉課	「高年齢者の就業機会の確保」を目的としており、幅広く働くことでの生きがい、健康づくりを視点にしているため、特定の起業家の育成は産業振興等別の視点になると考えています。
41	意見書	主な取組内容	基本目標3＞学校教育の充実＞郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進 佐渡を活用した起業家育成コースを専門学校と協働で推進してはどうか	学校教育課	小中学校では、各学校のカリキュラムに則りながら職場見学や課題解決型職場体験等を行い、起業を含めた職業に関する素養を育んでいきます。
42	意見書	主な取組内容	基本目標4＞持続可能な地域づくり＞地域づくり活動への支援 収益があがるような活動を検討してほしい	地域振興課	地域の課題解決に向けた取組の中で検討していきます。



43	意見書	主な取組内容	島民の収入増につながる施策がほしい	全庁	地域全体において、経済循環が図られるよう地方創生に向けて取り組みます。
44	意見書	主な取組内容	生物多様性保全や認証米に関わる取り組み内容があがっていない。生き物と共生は、農林水産業の振興だけではなく、持続可能な地域づくりの特徴的な取組のはず。	農業政策課	国のみどりの食料システム戦略に基づき、農業が生きものを育む低炭素社会実現の役割を果たすひとつの取組として、無農薬無化学肥料で栽培された農産物の拡大を指標とさせていただきます。
45	意見書	主な取組内容	引きこもりのサポートなど、子ども若者課の就労支援を基本目標4「まちづくり」のなかに含めると良いのではないか	子ども若者課	就労支援に特化するのではなく、それぞれの個性を活かした方法で地域に関わっていくことが必要と考えますので、基本目標3の中で強化しながら検討していきます。
46	意見書	主な取組内容	新穂地域づくり協議会など、地域運営組織の支援もまちづくりのなかに位置付けることは可能か	地域振興課	地域活動団体等による地域づくり活動への支援に含まれています。
47	意見書	主な取組	総合戦略や総合計画策定など、佐渡全体のビジョンを描くメタ的な事業も取り組み内容に加えてはどうか	全庁	ご意見として参考にさせていただきます。